



北海道議会議員

ふちがみ綾子

道政通信 Vol.6

ふちがみ綾子道政事務所

2021年春号

♡ ごあいさつ

～ コロナ禍での取り組み ～

みなさま方からの日頃のご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。議会では宿泊療養施設の確保やGoToトラベル・どうみん割の一時停止などコロナ対策と同時に、JR路線維持問題や過疎法など目の前に差し迫った先送りできない課題についても議論しています。また、欠かすことのできない原子力防災訓練の視察や、三重県庁での差別解消を目指す条例の制定への取り組みについての意見交換などを行ってきました。地域では街頭に立つ回数を増やして議会でのコロナ対策の取り組み状況をお伝えするとともに、感染拡大防止対策の呼びかけを行っています。



食と観光対策特別委員会でGoToトラベルについて質問する



原子力防災訓練

放射性物質が付着していないか検査を受ける

地域などで行われる交流会や学習会、お祭りなど年間行事の多くが感染拡大防止のため中止を余儀なくされています。このような直接お会いする機会を通じて貴重なご意見をお伺いしてきたところですが、今はそれも叶わない状況です。コロナ禍で大変な思いをされている方も多いこのような時こそ特に、みなさま方からの声を議会での具体的な質問にし、施策に反映していく必要があると思います。

本来であればこちらから積極的にお伺いしたいところではありますが、このような状況下ですとお電話やメール、SNSなどを通じてみなさまからのご意見、ご要望をお受けしています。各種給付金等の申請のお手伝いも引き続き行っていますのでお気軽にご連絡ください。

♡ 代表格質問

第4回定例会での私たちからの代表格質問で焦点となったものをお知らせします。

～ 事業者の新型コロナウイルス感染症対策の補助金の新設について ～

アクリル板の購入や換気設備の設置、清掃業者へのウイルス除去の依頼など、事業者においては新型コロナウイルス感染症対策に大きな負担が生じています。これらに適用できる補助金として「持続化補助金」や「外食産業におけるインバウンド需要回復緊急支援事業」などがありましたが、業種や適用される範囲が非常に限定的でした。幅広く適用でき、申請が容易な補助金の新設を求めた質問に対し、「国に持続化補助金の補助対象の拡大を要望する」との答弁でした。

～ 放射性廃棄物について ～

最終処分場選定のための概要調査については「現時点では反対の意見を述べる考え」との答弁でした。状況が変われば意見が変わる可能性があります。幌延深地層研究計画の9年間の延長については「9年間で必要な成果を得て終了すると考えている」との答弁でした。必要な成果が得られなければ際限なく延長される可能性があります。いずれの答弁も将来の担保がとれないものでした。



最終処分場選定への文献調査が行われることとなった寿都町での街宣活動

～ 学校における働き方改革について ～

業務量が増える懸念から多くの教職員が反対する1年単位の変形労働時間制について「月45時間年360時間の上限が守られない現下では条例を提案すべきでない」という考えの所見を求めた質問では、「働き方改革を推進する一つの選択肢として活用できるよう条例提案を行うこととした」との答弁でした。



民主・道民連合からの代表格質問 質問者/小岩均議員(北広島市)

変形労働時間制ってなに？

一定の期間内での労働時間を柔軟に調整する制度。忙しい時期に10時間、閑散期に6時間といった調整ができる一方で、業務量を削減しない限り労働時間が増える日があってもその分を別の日に減らすことはできないという懸念があります。

♡ 一般質問

第3回定例会での一般質問について、Vol.5に引き続きお知らせします。

～ 食品ロス削減について ～

飲食店等で食べきれなかった分を持ち帰ることは食品ロス削減につながりますが、飲食店としては衛生上の不安から持ち帰りを断ることがあります。そこで、自分の責任において持ち帰って食中毒が発生しても事業者をとがめないでほしいという質問をしました。飲食店等が原因でない場合は名称などの公表はしないとの答弁でした。



食品ロスってなに？

本来食べられるのに捨てられてしまう食品。日本の食品ロスは年間 612 万 t、1 人あたりの食品ロスは約 48kg、毎日お茶碗一杯分のご飯を捨てているのと同じ量になります。道では食品ロス削減のため「どさんこ愛食食べきり運動」を進めており、買い物は「計画的に」すること、外食時の「適量注文」、宴会時の「食べきりタイム」などを呼びかけています。

～ ひとり親家庭の支援について ～

ひとり親家庭の方の生活がコロナ禍でさらに厳しくなっていることが報告されています。相談窓口があるものの、シングルマザーの方からは相談や申請に行く時間や精神的余裕がない、役所に相談する勇気がないという声も寄せられています。そこで、相談に至るまでのハードルを下げる必要があるがどのように改善していくかという質問をしました。オンライン面談の導入などの工夫をしながら、お一人お一人に寄り添う相談支援に努めるとの答弁でした。



～ 高齢者などが賃貸住宅入居を断られる件について ～



高齢者が賃貸住宅に入居する際に断られることがしばしばあります。滞納や孤独死などの懸念があることから敬遠するオーナーは少なくありません。入居制限は借りる側の不利益ばかりでなく、高齢者の力を社会の中で活かすことを制限することになり社会的にも不利益であるため、対策を求めました。答弁ではセーフティネット住宅(※)の登録を促進するとのことでした。

※ 住宅確保要配慮者の入居を拒まない物件。
貸主は改修費用の補助などを受けることができる。

♡ 街宣

平日早朝の街頭での道政報告に加え、日曜の夕方に交通安全や新北海道スタイルに関する議会での取り組みについてのお知らせを行っております。見かけたらお気軽にお声がけください。また、学校や町内会などでの交通安全啓発活動に積極的に参加させていただきたいと思っておりますので予定などございましたらぜひご一報ください。



♡ 講演

性的マイノリティ当事者としてのこれまでの経験や議会での取り組みなどに関する講演の依頼を受け付けています。なお、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、会場で行う場合は新北海道スタイルに則った感染防止対策をお願いします。オンラインでの講演はこれまで通り受け付けています。



ふちがみ綾子プロフィール

1975年佐賀県生まれ。1997年富山大学卒業。1999年北海道大学大学院修了。北海道大学低温科学研究所勤務。2000年農林水産省北海道農業試験場勤務。2001年「ららつー」に入社。2019年北海道議会議員に初当選。

所属委員会：環境生活委員会・食と観光対策特別委員会

♡ ふちがみ綾子道政事務所



〒065-0011

札幌市東区北11条東8丁目1-3 高岡ビル1階

TEL: 011-733-6007 FAX: 011-733-6008

ふちがみ綾子公式ウェブサイト

<http://fuchigamiyako.jp/>

